

2012年度(平成24年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)  
入学試験問題

試験科目	国際交流		
問題区分	外国人留学生	解答用紙枚数	2

次の設問から 2問を選択して解答しなさい。なお、1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

設問1

駅のホームでは「白線の内側に下がってお待ちください」といったアナウンスを耳にしたり、そのような表示を目にすることがある。この表現を英語訳すると“Wait behind the white line.”となる。両言語表現の違いを異文化間コミュニケーションの観点から論じなさい。

設問2

下の標識(a)と(b)は両者とも歩行者ゾーンを表わしている。ところで、この標識の図柄に関して、問題点が指摘されることがある。それはたとえばどのような問題だろうか。ジェンダーの観点から論じなさい。

(a)



(b)



設問3

戦後、世界的規模で行われているグローバル化によって、モノや情報はもちろんのこと、人の移動も国境を越えて活発になっている。そのような現象は、国際結婚によって他の国に移住する人々をも生み出し、その数は増加しつつある。「結婚移住者」たちが抱えている問題点を言語・文化・人権の観点から述べなさい。

2012年度(平成24年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)  
入学試験問題

試験科目	経済史		
問題区分	外国人留学生	解答用紙枚数	2枚

次の設問から2問を選択して解答しなさい。なお、1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

設問1 次の言葉を考慮して、18世紀から19世紀にかけてのイギリス産業革命の特徴と世界史的な意義について論じなさい。  
・機械制大工業  
・資本主義  
・綿工業

設問2 東アジアにおける農業の小経営的発展について説明しなさい。

設問3 日本地主制が確立期の日本資本主義とどのように結びついていたのか、さらにその関係がその後どのように変化していったのかを概説しなさい。

2012年度(平成24年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)  
入学試験問題

試験科目	経営学(会計学を含む)		
問題区分	外国人留学生特別選抜	解答用紙枚数	2 枚

次の設問から 2問を選択して解答しなさい。なお、1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

- 設問1 日本企業において、「株主主権」的なコーポレート・ガバナンスのメカニズム設計が重視されるようになった背景やその経緯について説明するとともに、その意義と問題点について論じなさい。
- 設問2 アメリカ企業は「組み合わせ型経営」が得意で、日本企業は「擦り合わせ型経営」が得意だ、という議論があります。これについて、経済活動のグローバル化の現状を踏まえて、自らの意見を述べなさい。
- 設問3 企業会計の前提をなす会計公準について、基本的なものを三つ挙げ、それぞれ説明しなさい。
- 設問4 費用収益対応の原則について、具体例を挙げながら説明しなさい。